

# さんま通信



厚生中央病院だより 第71号 2023年

冬



## 新年のご挨拶

病院長 河島 尚志



新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのことと存じ上げます。昨年は、コロナ禍も3年目となり、世界的にもウクライナの情勢など世情は非常に不安定な一年でしたが、皆様と一緒に希望にあふれる新しい年を迎えられたこと、大変うれしく思います。

さて、厚生中央病院は、全国土木建築国民健康保険組合直営の病院でありながら、地域の中核病院として長い間多くの役目を果たしています。昨年は、一般の診療や救急医療だけでなく、コロナワクチンの職域接種や目黒区の接種への協力や多くの二次健診を行ないました。そのため、多くの関係者からお礼の言葉をいただいたり、また、救急車の応需率でも目黒区消防署から感謝状を拝受しました。今年も海外の様子を鑑みると、コロナがまったくなくなることはないかと推察され、当院としてもコロナの診療にできる限りの対応をしていくつもりです。おそらくは、抗ウイルス薬やワクチン、プレコーションの徹底などにより、一感染症としてある程度封じ込めができ、5類として捉えていくようになると思います。こういった中で、厚生中央病院ならではの高齢者医療、病院機能の充実に向けて邁進していくつもりです。令和4年度から始まっている診療内容のブラッシュアップ、周産期医療（産科病棟の改築）、広報や連携の充実、などの計画を実行性をもって進めていきます。医療は進歩しており医療を取り巻く環境は日々変化しております。患者様の求めているところも変わってきています。当院としては、変化をおそれずに常によりよい医療を提供できる病院を目指し、厚生中央病院への紹介を一番に考えてもらえるよう患者ファーストの医療を目指していきます。職員は一丸となって活発かつ健全な病院になるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

皆様方の素晴らしい一年になりますようにお祈り申し上げます。

### 目次 contents

新年のご挨拶	1
副院長就任のご挨拶	2
冬本番！正しい保湿ケア	3
診療情報連携ネットワークを ご存じですか？	4

どうして？  
さんま通信の

目黒で野駆けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る！』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。



## 副院長就任のご挨拶

副院長・循環器内科部長 五関 善成



皆様こんにちは。2022年10月1日より副院長を拝命しました、循環器内科部長の五関善成（ごせき よしなり）と申します。

2016年9月1日に大学病院より循環器内科に赴任しまして7年目になります。その間近隣の医療施設の先生方や関係者の方々には医療連携を通じて大変お世話になり感謝申し上げます。大学病院では循環器の中でも不整脈を中心にカテーテルアブレーションや、ペースメーカー、ICD/CRTDなどデバイス治療を行ってきましたが、当院へ赴任後は「高齢者の急性期医療に強い病院」との方針もあり、心不全パンデミック時代を反映し増加している高齢者の心不全にも力を入れています。心不全は近年毎年のように新しい薬が登場している分野であり、まだエビデンスが十分ではない心不全治療薬を病態に応じていかに適切に組み合わせて使用していくかが循環器医の腕の見せ所になっています。そのため当院では、入院中の経過が簡明にわかるフォーマットを電子カルテ内に作成し、入院のたびに問題点や投薬に対する反応などを簡明に記載することで、再入院した場合にもすぐに過去の経過が全て容易に把握でき遅滞なく継続した治療ができる体制を構築しています。

今後副院長としては、地域の方々に頼りにされる病院を目指すとともに、恵比寿駅に隣接するという利便性を生かし全国土木建築国民健康保険組合被保険者の方々にも信頼され、幅広く受診してもらえる病院にしたいと思います。そのためには、各科で行われている大学病院と遜色ないレベルの検査や治療を知ってもらう広報活動や、逆にこちらから赴き当院への要望をお聞きし病院運営に反映させる両方向性の活動が重要と思います。

最後になりましたが、自分なるべく病院までは朝歩いて通うようにしています。また、近隣の色々な銭湯に仕事帰りに寄ったりもし、五感でこの街全体の雰囲気を感じるのが好きです。今後ともよろしく願い申し上げます。



## 乾燥（ドライスキン）とは？

乾燥とは、皮膚の表面の柔軟性が低下し角質が硬く、脆くなり、角質水分量が減少した状態です。正常では、角質水分量は約20～30%とされるが、ドライスキンでは10%以下まで低下します。

男女問わず、加齢とともに皮脂の分泌が減少し、乾燥する冬期に皮膚は乾燥します。

ドライスキンになると、かゆみを生じるだけではなく、外界からの刺激やアレルゲンの侵入を防ぐバリア機能が壊れる事が問題となります。そのため、ドライスキンの状態を改善する必要があります。

## ケアの実際

### 室内の環境

・冬期は、湿度が40%以下になると乾燥傾向となるため、部屋の温度をコントロールする必要があります。もっとも一般的な方法は、加湿器の使用ですが、無い場合は、部屋に濡れたタオルを干すと良いです。

### 皮膚の清潔

- ・ドライスキンでは、細菌の侵入が容易となり感染しやすい状態となるため皮膚の清潔を保ちます。
- ・使用する洗浄剤は、低刺激性・弱酸性の物を使用します。
- ・皮脂の喪失とかゆみの誘発をさけるために、入浴時には熱い湯、長湯は避けます。(38～40度程度のぬるめとする)

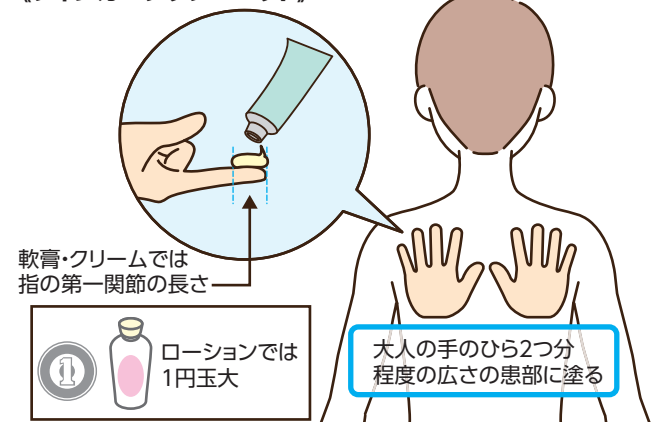
### 保湿方法

・入浴後、10分以内をめやすに保湿剤を塗る。入浴時以外にも、1日2回以上、皮膚の乾燥を感じるタイミング（皮膚のかゆみ・粉吹きなどが見られた時）に塗ります。

## 保湿剤の使用量のめやす

保湿剤・保湿外用薬の使用量は、フィンガーチップユニット(finger tip unit:FTU)を参考にします。軟膏・クリームでは指の第一関節の長さ・ローションでは1円玉大が1FTUとし、この量を大人の手のひら2つ分程度の広さの皮膚に塗るのが適量とされています。

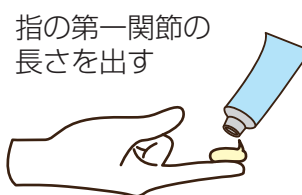
### 《フィンガーチップユニット》



## 保湿剤の塗り方

### ①適量を手に出します

#### 軟膏・クリームの場合



#### ローションの場合

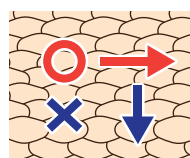


### ②数か所に分けて皮膚に置く



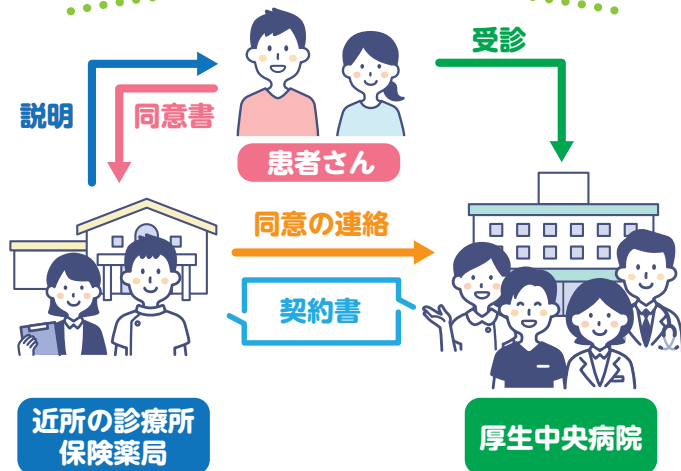
### ③保湿剤が浸透しやすいように、皮膚の皺に沿って塗ります。

(毛の流れに沿って塗るとわかりやすいです)



## 診療情報連携ネットワークをご存じですか？

### 診療情報連携ネットワーク



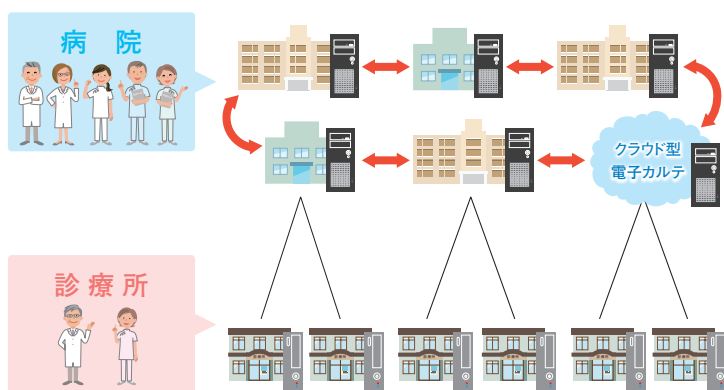
医療機関が電子カルテを利用して診療情報を相互参照することにより、医療の質と安全性の向上、医療資源の効率的な活用を推進し、地域の患者さんへより良い医療サービスの提供が可能になります。

例えば別の病院で治療を受けていた患者さんが、初めて受診した診療所で他院の治療内容を尋ねられたとき、それを医師に正確に説明するのが難しいことがあります。そんな時でも、診療所で以前通院していた病院の診療情報が閲覧できるため、正確な情報に基づいた適切な治療が行えます。あるいは、かかりつけ医が患者さんを病院に紹介することになった場合でも、紹介先の病院での患者さんの検査や治療内容を引き続き閲覧できます。引き続きかかりつけ医に見守ってもらえることは患者さんの安心につながります。さらには

病院で手術を受けた患者さんが病院を退院し、退院後の経過を近所の診療所で診てもらうことになった場合でも、近所の診療所入院していた病院の診療情報が閲覧できるため、正確な情報に基づいた適切な治療が継続して行えます。

当院も独自のネットワークを構築し地域の診療情報連携に貢献したいと考えています。このような連携を行うためには、医療機関同士が契約書を交わした上で、患者さんは十分に説明を受けて、診療情報の提供に同意して頂く必要があります。

## 東京都の地域医療を支援する 東京総合医療ネットワーク



東京総合医療ネットワークが進化しています。東京都全域をカバーするために整備する東京総合医療ネットワークの特色は以下の3点です。

1. 院内に電子カルテ端末やインターネットの閲覧機能があれば連携に参加できます。また、これまで独自に医療ネットワークを構築していても、東京総合医療ネットワークに加入し連携に参加することができます。
2. 連携のための医療機関IDの発行を受け、患者さんのための同意文書を整備することで連携を開始することができます。
3. 専用のサーバーやポータルを設置しないので、将来まで持続可能なネットワーク運営ができます。

東京総合医療ネットワークの構築にあたっては、まず東京都内の病院間ネットワークが形成され、その後、診療所との連携が拡大されています。

診療所に大きな負担をかけずに連携を実現する方法として、クラウド型電子カルテ企業が連携用のサーバーを構築することで診療所がネットワークに参加できる仕組みが検討されています。

診療所は閲覧用のPCを新たに購入しなくても、院内の電子カルテ上で閲覧できるようになります。



厚生中央病院 **さんま通信** No71 2023

発行元：総合病院 厚生中央病院 地域連携広報室

〒153-8581 東京都目黒区三田1-11-7  
TEL：03-3713-2141 FAX：03-3713-8021  
E-mail:renkeisitu@kohseichuo.jp  
URL <http://www.kohseichuo.jp>